

## 【NEWS RELEASE】

2021年5月31日

各位

株式会社三井住友銀行

盟和産業株式会社に「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、盟和産業株式会社（代表取締役社長：飯塚 清）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、盟和産業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

**事業 I：リサイクル材料の使用を通じた廃棄物の発生抑制、資源の有効活用**
**事業内容：**

製品を製造する過程で生じたプラスチック樹脂の端材や不良品、またメーカーから再利用の要請があった材料などについては、工場にて粉碎のうえ、製品の基材に投入するリサイクルシステムを確立している。

**SDGsへの貢献内容：**

粉碎し、原料に還元されたプラスチック樹脂を活用することで、プラスチック樹脂の廃棄量が減少するとともに、製品の製造に必要な材料を減らすことも可能となり、資源の効率的な活用にもつながっている。

**SDGsのターゲット：**

- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。



## 事業Ⅱ：製品の軽量化による自動車の燃費性能向上への貢献

### 事業内容：

自動車のトランクやフロアなどに使用される製品を製造される過程で、強度を保ちつつ軽量化に向けた開発を継続しており、その成果として自動車メーカーの内装に採用されている。

### SDG s への貢献内容：

内装が軽量化することで、自動車自体の軽量化に貢献している。自動車が軽量化することによって燃費性能の向上につながり、エネルギー効率の改善につながっている。

### SDG s のターゲット：

7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。



三井住友銀行では、「SDG s 推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

### <ご参考>

#### ※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことであります。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。